日米豪比防衛相会談共同声明
２０２６年１１月１０日

２０２６年１０月２８日、フィリピンのセブにおいて、小泉進次郎防衛大臣、ピート・ヘグセス米戦争長官、リチャード・マールズ豪副首相兼国防大臣及びギルベルト・テオドロ比国防大臣は、フィリピンが主催する拡大ＡＳＥＡＮ国防相会議（ＡＤＭＭプラス）の機会に会談した。閣僚は、地域の安定と安全を確保するため、抑止力を強化し、相互運用性を拡大し、地域における協力を強化することにコミットした。

閣僚は、東シナ海及び南シナ海の情勢に関する深刻な懸念を改めて表明した。閣僚は、力又は威圧によるものを含む、緊張を高め、地域の平和と安定を損なう、あらゆる一方的行動にも強く反対することを改めて確認した。

閣僚は、先般署名された日米豪比防衛協力委員会（ＤＣＣ）に係る取決め、並びに「バリカタン」、「キーン・ソード」及び定例の海上協同活動に関する成功裏の実施を含む最近の進展を踏まえ、将来を見据えた取組にコミットした。これらには、フィリピンにおける協同調整センター（ＣＣＣ）の設置、フィリピンの群島防衛を支援するための防衛投資の調和、閣僚級及び政策当局の高官級協議の強化、並びに共同演習・訓練及び協力活動の範囲の拡大、内容の高度化及び頻度の増加が含まれる。